

自分の考えや思いを英語で伝え合うことに喜びを感じる児童生徒の育成をめざして

越ヶ浜中の
英語の取組

生徒自身が「積み上げ」を実感できるために心がけていること

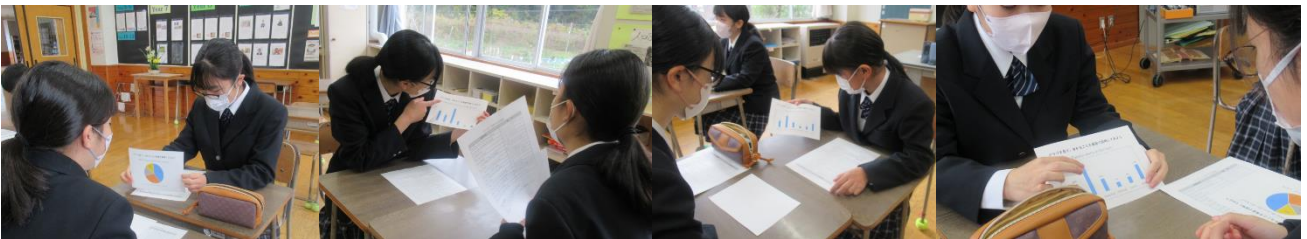
～単元のゴールの共有と、スモールステップで得られる達成感の重要性について～

2年生のUnit6「Research Your Topic」では、「自分の興味のあるテーマについて、調査をもとにしたデータを比較しながら説明（プレゼン）する。」という活動を行っています。この単元の文法事項は「比較級・最上級」となっています。自分が興味・関心のあるテーマでリサーチを行い、その結果をデータ比較する形でプレゼンに盛り込みます。最終的には、プレゼンを作成し、メモなしで全体の前で発表する予定です。

発表内容も高度になってくるため、ゴールをその都度生徒と共有して「small step」で取り組んでいます。前時は、教師が準備したグラフや表を生徒一人ひとりにランダムに手渡し、そこから分かることを生徒同士で伝え合う活動を行いました。この時点では、教師からは何のてこ入れもせず、自分たちの力だけで取り組ませました。生徒たちは、学習した比較級や最上級を用いながら一生懸命に伝え合っていました。単発的な文章を口にするだけに終わる場面も見られました。そこで、授業の最後に、「次の時間は、グラフを説明するのに便利なフレーズを取り入れながら、再度グラフの説明に挑戦します」と予告をして終わりました。

そして本時。教科書の内容を復習し、グラフを説明する際に有効な表現を一覧にして配付した上で、前時と同じタスクを与えました。「よりよい説明ができるようになりたい」とふり返りで書いていた生徒たちは、今回「According to」「As a result」「such as」など、プレゼン発表にふさわしい表現を積極的に取り入れて説明しようとしていました。こうして生徒たちは、一步一步単元のゴールの姿に近づいていきます。

スモールステップで達成感を多く得られる方法で学習すると、英語学習を継続できるようになると言われます。同じことの繰り返しの中でも、少しずつ変化を与え、負荷を追加することで、生徒自身が「積み上げ」を実感できるからだと思います。



グラフや表は自分の机に置いてローテーションし、席が替わる度に違う表やグラフの内容を説明するようにしました。この日は、便利なフレーズ集を片手に、言葉をつなぎながら説明する様子が見られました。

上述したような活動を繰り返すうちに、生徒たちは自分の頭で考えながら英語を紡ぎ始めるようになってきており、チャレンジ意欲も高まってきているように感じます。単元のゴールに向けて、生徒自身が一歩ずつ近づいてきているという実感を持つことができるよう、これからも継続していきます。

また、余談になりますが、このユニットではリサーチ内容をグラフにまとめてプレゼンすることになります。そこで、技術の時間を活用してExcelの使い方を学習し、生徒たちはExcelを使用してグラフや表などをある程度作成できるようになりました。

こうした教科横断的な取組がしやすい環境にあることも、小規模校のメリットであり、学んだ知識の活用場面を関連付けて指導しやすくなっています。

